

平成23年度 第2回三原市市民協働推進委員会 概要

◇日時：平成23年11月30日（水）午後4時～午後6時50分

◇場所：本庁議会棟3階 委員会室

◇出席委員：11名（欠席4名）

◇会議次第

1 開 会

2 報 告

(1) 平成24年度三原市市民提案型協働事業について・・・・・・・・・・別紙1

(2) 部会の開催状況について

3 議 題

(1) 市民協働のまちづくりフォーラムの開催について

①地域防災に関するアンケート調査結果について・・・・・・・・・・別紙2

②市民協働のまちづくりフォーラム及び連続講座の開催について・・・・・・・・別紙3

(2) 三原市市民協働のまちづくり推進計画について

①平成23年度市民協働のまちづくりアンケート調査結果について・・・・・・・・別紙4

②三原市市民協働のまちづくり推進計画の取組状況及び評価について・・・・別紙5

③三原市市民協働のまちづくり推進計画の改定（案）について・・・・・・・・別紙6

◇主な意見（○：委員の発言，●：会長・部会長の発言，★：事務局の発言）

2 報 告

(1) 平成24年度市民提案型事業について

質問・意見なし。

(2) 部会の開催状況について

質問・意見なし。

3 議 題

(1) 市民協働のまちづくりフォーラムの開催について

①地域防災に関するアンケート調査結果について

●：三原に来て17年になるが、目立った災害はなかったように思う。だからこそ、自主防への意識が薄いのかもかもしれない。

○：私たちが普段聞く中では、「三原は災害がなく良い所だ」とみんな言う。しかし、50年遡ればかなりの広範囲で土砂災害は起きており、人命も失われている。ここ10年ほど大きな災害がなく、芸予地震のことも忘れられているために、軽く見られているのだろう。過去には三原でもこんなことがあった、というものを伝承していく取り組みが必要。今、東日本大震災や各地での豪雨、水害が起きている中で伝承によって警鐘を鳴らす必要性は高い。

●：繰り返してはいけない，ということは，遑って伝えていかなければならないし，我々は知っておかなければならないと思う。

★：フォーラムの第一分科会において，澤田先生は三原市の地質や過去の災害についても調べられているようなので，起こりうる災害について，また委員の言われたような過去の災害についても，身近なものをお話して下さると思う。

②市民協働のまちづくりフォーラム及び連続講座の開催について

・フォーラムチラシ・ポスターについて（別紙3・5ページ）

●：今までは連続講座の案内をポスターには入れていなかったが，流れを見ていただきたいので今回は連続講座まで入れている。

●：日付がばらばらなので，本当に続けてあるのかな？と思ってしまう。フォーラムの本体と，連続講座が別々のものなのか，全て22日にあるのか分かりにくく，勘違いするかもしれない。

★：たとえば，線で区切って，フォーラムと連続講座を分けるような形にすればよろしいですか。

○：区切ったうえで，連続講座の部分を「予告」とすればどうか。

●：講座の1，2が縦に並ぶ形になっているが，横に並べたほうが見やすいのでは。

○：「予告」ではなく「お知らせ」とすればどうか。また，「ゆめきやりあセンター」がどこなのか，まだ十分に周知されていないと思う。「旧能力開発センター」があったほうが分かりやすいと思うが。

●：「(多目的ホール)」はいらない。そこに，「(旧能力開発センター)」としたほうがいいのではないか。

★：では，連続講座の部分は「お知らせ」に，講座1，2の並びは横に，「ゆめきやりあセンター」については「(旧能力開発センター)」を表記することとします。

・連続講座チラシについて（別紙3・6ページ）

★：部会では町内回覧について，月の途中にチラシを送付すると翌月初めの回覧となり間に合わないため，フォーラムと連続講座のチラシを同時に12月15日に送付するという話が出ていた。しかし，連続講座のチラシに関しては，1月15日で送るようにしたい。連続講座は2月初めに回覧されたとしても，3月にも開催するものなのでその部分については間に合うし，また，一度に送るよりも二回に分けたほうが目に付き易いのではないかという考えもある。よって，フォーラムのチラシは12月15日，連続講座のチラシは1月15日の回覧文書ということにさせてもらう。

●：チラシの中身については，先ほどのフォーラムチラシと同じように，講座1，2の並びを横にすることと，「ゆめきやりあセンター」については「旧能力開発センター」という表記を入れることでよろしいですか。

（異議なし）

○：「ゆめきやりあセンター」の地図は載せてあるが、駐車場について、あるのかないのかを入れなくても良いのか。

★：駐車場はどの講座においても確保している。ただ、講座2に関してはペアシティであり、5階の立体駐車場を無料にすることは考えているが、数は多くない。

○：講座2は親子で来ることになるので、おそらくほとんどの人が車だと思う。

★：では、全体に「駐車場あり」の表記を入れたうえで、講座2に関しては「その他」の部分に駐車場には限りがあると分かるような言葉を入れることでよろしいですか。

(異議なし)

○：講座2に関しては、「子育てまちづくりミーティング」の中で、子供向けとして、子育て支援課などに置くような詳細なチラシを作ろうかという話になっている。

★：講座2のターゲットは小さい子供がいる親である。町内回覧だけでは見ない可能性が高い。委員が言われるように、ミーティングのほうで、子育て支援課や保健福祉課など、そういった親子が訪れるような場所に置くようなチラシを作成・配付したいと考えている。

・フォーラム当日アンケート

○：内容的には充分だと思うが、今後の案内等をするのならば、せつかくなら電話とFAXだけではなくメールアドレスを訊くべきではないか。また、つながりねっとを立ち上げているのだから、HP上にそういうものを載せているという紹介を、チラシにも載せるべきではないか。こちらの連絡先のメールアドレスも載せるなど、それは今後徹底していったほうが良いと思う。

●：アンケートの問4に「配布の資料（○色）の○ページを参照ください」とあるが、これはどういうことか。

★：プログラムの中に、連続講座のチラシを挟み込むような形にする場合に、そのチラシを見てどの講座に参加するか参加しないか○をつけてください、という意味合い。まだプログラムはできていないので、実際はどうなるかまだ分かりません。

・作業テーブルについて

★：委員の皆さんには、受付の案内係をお願いしたい。先ほど、フォーラムへの声かけをお願いしたが、そこで来てくださった顔見知りの方などの案内をするような形で、ご協力をお願いします。

・スケジュールについて

○：スケジュールの中に「連続講座のチラシ・申込用紙」とあるが、申込用紙を作るのか。

★：申込書は作りません。訂正をお願いします。

(2) 三原市市民協働のまちづくり推進計画について

①平成23年度市民協働のまちづくりアンケート調査結果について

- ：今年の「理解している」の割合は、以前と比較すると数字が増えているのでしょうか。
- ：平成19年度の調査においては、全く同じ設問・対象ではないために純粋な比較にはならない。しかし、職員アンケートを見ると分かるように、3年間で数字は増えてきている。そういった意味では、この3年間で我々が行ってきたことに関して、一定の評価はあるということだろうと、部会の中でも意見は出ている。積み残していることに関しては、これから行っていく必要がある。
- ：詳細結果の後半にある意見のほうが、細かく、よく考えて書かれている部分も多く、非常に前向きに取り組んでいるような提案もありますし、これは今すぐにやったほうが良いといったような意見もあるので、ここをどう活かしていくか、ということが大事だと思う。
- ：このアンケートの結果は、広く市民に公表するように予定していらっしゃるのですか。
- ：現段階では、どこまでこれを出せばいいか、特に後半の具体的に書いていただいた部分については、どこまでお知らせしたほうがいいのか、部会のほうでも悩んでいるところである。
- ：細かい固有名詞についてはどうしようかという部分はあるだろうが、市民全体の協働のまちづくりに対する認識がアップしていて、次に向かって、市民が行政と協力していこうという気持ちになっているという部分はどこかで紹介していかなければいけないでしょうね。
- ：それは事務局のほうで検討いただきたい。
- ：最終的には推進計画の見直しの中に取り入れていかなければならないが、アンケート結果をすべて、というのは少し厳しいだろうとは思っている。そこは今後また部会で検討していく。

②三原市市民協働のまちづくり推進計画の取り組み状況及び評価について

- ：別紙5、7/10の「公民館・コミュニティセンター機能の再構築」について、大和の話になるが、合併する以前は、公民館を主体として自治会がうまく活動していた。公民館に配置されている生涯学習指導員も地元と関わってくれていた。現在、そのあたり、連携できているのか。住民活動というのは行政とだけではなく、公民館とも手を繋がないとうまくいかないのでは。その点について、教育委員会などと話し合いがきちんとできているのか。また、推進計画の見直しについては、何か具体的に、実のあるものを入れて欲しい。
- ★：一点目の公民館のあり方については、公民館は社会教育施設ということで、大和町時代には地域の拠点施設として生涯学習指導員などがいろいろ地域とやられていたようだが、三原市の生涯学習指導員に対しては、そこまでを求めている、ということになっている。将来的には、社会教育施設から地域の拠点施設にと考えてはいるが、今現在ではそこまではできていません。
- ：もう一点については、どうですか。
- ：それは、部会のほうでも出ている話であり、次の説明をしていただいているほうが良いと思う。
- ：公民館やコミュニティセンターは避難所に指定されているが、同じく避難所に指定され

ている学校の体育館とは扱いが異なっている。体育館にはテレビを置くが、公民館などには置くことになっていない。地域によっては体育館がないところもあり、公民館に避難するしかないのに、そこにはテレビがない。この扱いの違いは、同等にはならないか。

★：避難所については、学校の体育館についてのみテレビ等を置くことになっている。今年度はあくまでも学校施設を拠点として、そこから整備を始めている。予算の面でも厳しい部分があるので、今後、徐々にそういったところにも整備は行っていきたいが、今現在では難しいということである。

○：総合評価の中に「A」区分として市民提案型事業が挙げられているが、現在はテーマが3つに絞られており、この枠に充てるようになっている。もっと市民の自由な発想での事業が行えるような形に、テーマを広げていただけたらと思う。防災についても、市民に啓発するという意味では、もっと協働で行えるようにしてはどうか。あまりにも枠を決めた、トップダウンのような形ではないものに、していければいいのではないか。

★：仰るとおりであるが、計画年度の部分に「△」がついており、これは「試行」の段階ということである。あくまでも試行であるので、限られた予算の中でどう団体と協働していくかということ、現段階では3つのテーマを絞って試していき、ある程度要領が分かり、流れができあがれば、またテーマを広げていきたいと考えている。現在の形が最終の形であるとは思っていない。

将来的には、市の全ての課からどのような協働事業ができるかということも挙げてもらい、それを市のHPなどで広く公開し、その中からいろいろな事業について提案をいただきたいという目標を持っているが、今しばらくは、テーマを設定した中で提案をしていただきたいと思っている。

③三原市市民協働のまちづくり推進計画の改訂（案）について

○：せっかくこれだけのアンケートを取って、計画見直しをするのだから、第4章にももう少し図表なども入れてアンケート結果を見せる形にしてはどうか。三原は3年間で成長したのだなというのをざっと見ようとすると、これだけ文章が並んでいると見難いかなと思う。

●：部会のほうでも、これだけ見ても一般市民の方には分かりにくいので、概要版のようなものを作るべきではないか、という話はしている。

○：もう一点、意識とかいう問題ではなく、外部的な問題として、三原市の人口や税収が当初の見込みとどうなったのか、これから3年後はどういった見通しなのかをデータとして含めるべきではないか。三原市の財政的な状態は協働を進めて何か影響があったのか、または、どんどん財政的にも厳しくなっているから協働が益々必要になっているのか。こういった外部的な環境があるから、こうしていかなければならない、というデータをどこかで示してもらえればと思う。

●：社会が早いスピードで変化しているので、思い切って推進をしていくべきではないか、という意見も部会では出ている。具体的な文章にできるような段階ではないが、そういった議論を行っているということをご報告しておく。

- ：高齢化が進み，おそらくこの3年間でも限界集落が多くなったのではないかと思う。
- ：やはり，1市3町の中で，それぞれに状況・変化の流れは異なっているのだと思う。そこへ同じものを同じスピードで進めて行くと，余計に格差が広がってしまうのではないか。
- ：この推進計画を見直したものを，計画の中間として市民の方に示されるのでしょうか。
- ：今でもHPで見られるようになっていきますので，同じように掲載します。
- ：現在，小学校の統廃合が進んでおり，地域の状況は大きく変わってきている。
- ：いずれにしても，計画の基となるデータベースが変化しているということだと思う。そのあたりはしっかり捉えておかなければならない。